



第2次亀山市総合計画後期基本計画の策定について

亀山市は、令和2年度から約2か年をかけた計画策定作業を終え、このほど本年度から令和7年度までの中期戦略となる「後期基本計画（案）」を取りまとめました。

この計画の策定に当たりましては、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行やDX（デジタル変革）、SDGsの進展など、第2次総合計画策定時点では想定し得なかった急激な社会経済情勢の変化を踏まえた、基本構想の変更も行っています。

とりわけ、コロナ禍の中で、人口減少社会やスマート社会の到来も相まって不確実性の時代を迎えつつあります。そうした中で、今後のまちづくりを展開していくに当たり、基本構想の施策の大綱において、総体的に重視すべき視点として、新たに「ポストコロナ時代のニューノーマルへの対応」「デジタル変革」「SDGsの達成」の3つの視点を組み入れ、将来都市像「歴史・ひと・自然が心地よい 緑の健都 かめやま」の実現を目指しています。

また、後期基本計画（案）では、前期基本計画を超える32の基本施策と各分野にわたる330の施策を位置けるとともに、ポストコロナ時代において、環境変化に素早く適応し乗り越えられるしなやかさと、新型コロナウイルス感染症からの早期克服によりまちの活力を高め、持続的に発展し続けられる「健康都市」の形成に向けて、『健都さぶり+』プロジェクト、『まち紡ぎ』プロジェクト、『しなやか田園都市』プロジェクト、『未来へのトビラ』プロジェクトの4つの重点プロジェクトを掲げ、重点的かつ分野横断的な取り組みを進めることとしています。

併せて、関連する施策を積極的に推進するため、本年度から令和7年度までの主要事業を取りまとめた実施計画を策定し、計画期間内において事業総数104事業うち新規事業29事業（令和4年度分は事業数94事業うち新規事業17事業）を見込んでいます。

一方、後期基本計画の策定に併せて、亀山市長期財政見通しを改訂いたしましたので別紙をご覧ください。

なお、基本構想の変更及び後期基本計画の策定に係る関連議案は、来る6月定例会へ提出し、可決後、速やかに本計画の推進を図り、「改進の年」としての更なる歩みを進めてまいります。



〔別表：重点プロジェクト推進のために取り組む主な事業〕

プロジェクト名	事業費 (千円)	事業数	期間中の主な事業
『健都さぷり+』 プロジェクト	2,496,100 (1,886,300)	8事業 (8事業)	健康都市大学創設・運営事業 公園施設長寿命化事業 地域の学び推進事業 がん検診推進事業
『まち紡ぎ』 プロジェクト	674,600 (189,000)	8事業 (6事業)	地域福祉力向上重層的支援体制整備事業 地域まちづくり協議会支援事業 かめやま文化年事業 東海道街道環境整備事業
『しなやか田園都市』 プロジェクト	2,674,300 (357,600)	17事業 (16事業)	防災情報伝達システム整備事業 浸水対策事業 亀山ブランド推進事業 亀山サステナブル事業
『未来へのトビラ』 プロジェクト	3,425,300 (856,300)	17事業 (15事業)	子育て世代包括支援事業 中学校全員喫食制給食実施事業 学校施設長寿命化計画策定事業 川崎南保育園保育室増設事業

※事業費・事業数は、令和4年度から令和7年度の4箇年の合計で、()内は令和4年度分を記載したものです。